（様式３－２） 調査研究活動記録票（先進地視察又は現地調査に要する経費）

嬉野市議会議員　　芦塚　典子

実施月日	平成31年1月30日（水）
実施時間	９:00～17:00
調査先	野田市観光施設（ものしりしょうゆ館、野田市民会館、関宿城博物館等）
調査所在	千葉県野田市野田１１０番地
調査の目的	野田市の観光施設の状況
調査先担当者	興風図書館　田中いく子
内容・結果等	１．キッコーマンもの知りしょうゆ館：醤油ができるまでの工程を映像や展示で紹介する 施設でもろみ熟成の様子や、醤油の色・味・香りを体験できる。 入館料：無料　入館時間：9時、10時、11時、13時、14時、15時の6回予約制　約60分ネットに「予約殺到！野田市でできる人気の工場見学」 まず15分のビデオ上映、次に貴重な実際の製造風景「円形製麹装置」 色や香りの違いを知る「嗅ぐ体験」広い工場内を様々な体験をした後は「まめカフェ」で「せんべい焼き体験「しょうゆソフトクリーム」「ミニうどん」など、体験の後は「牡蠣しょうゆ」のプレゼント、宮内庁の「御用蔵」の見学もできる。「見て」「嗅いで」「食べて」体験、そのほかに「しょうゆづくり体験」もある。 ２．野田市郷土博物館、野田市民会館 野田市郷土博物館　醤油関係の資料は、日本一豊富な博物館である。 野田市民会館　国の登録文化財で純和風の木造建物で貸出用の和室10部屋と茶室。 キャリアデザインの拠点として「市民のつどいの間」を整備し、学芸員が常駐してキャリアデザインに関する情報の提供を行い、市民の交流の場としている。 ３．関宿城博物館 江戸時代、野田の醤油などを満載して「高瀬船」が展示してあり、野田市内を循環する「まめバス」２００円で行く。ただし約2時間かかる。 マトメ　キッコーマンもの知りしょうゆ館は、この日、9時からの見学参加者は、私以外皆家族連れで、約20名、館内は大変広かったが、ゆっくりしたコースで、また最初のビデオ上映も子供向け、館内案内の冊子も「大人用」、手に取ってみたくなるような「子ども用」があり、家族連れ、保育園体験学習にも、ターゲットを絞った取り組みが、至る所に見受けられた。保育園児、家族連れに人気のある体験、工場見学で、当市の体験館にも参考になる工場見学施設であった。 野田市民会館は、市民が運用している施設で、市民団体が多く利用されていた。 関宿城博物館は、往時の高瀬舟を展示しており、塩田津も天草舟の展示があれば、観光に一役を買うのではないかと、船の提供があったのが惜しまれる。

	経費の内容	支払先	金額（円）
上記活動に要した経費	旅費		22,260
	宿泊費		12,900
	合計		35,160

※裏面に領収書、開催通知等を貼付のうえ、実績報告書の支出明細に添付すること。

会議や研修等の資料についても整理保管すること